

大学院看護学研究科 博士前期課程		授業 科目	老年看護学特講演習 Seminer/Practice in Gerontological Nursing Care			担当 教員	沼本教子（専任） 坪井桂子（専任）	
年次	1～2年次	単位数	6単位	科目 分類	専門科目 実践看護学	授業形態	実習と演習	
選択必修	必修	時間数	270時間			使用教室		
授業の目的及びねらい		<p>講義・演習などで学んだ理論、知識、技術を選択した分野での実習における実践に適用統合し、専門看護師として必要な高度な実践能力を高め、看護職をはじめとする関係職員への教育・相談・調整を行う能力を養う。また、実践体験と研究関心を関連させながら文献的検討を進める。</p>						
授業のキーワード								
講義回数	授 業 内 容 及 び 計 画							
	<p>【実習および演習内容】</p> <p>I. 施設や病院で看護ケアを受ける高齢者を受け持ち、その人の生活の視点に着目した看護の実践を通して、治療・回復の過程を支援するためのアセスメントと直接的な看護ケアの能力を開発する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実習時期：1年次前期（夏休み期間の2週間）</li> <li>・実習施設：病院または介護老人保健施設</li> </ul> <p>II. 認知症高齢者を受け持って、専門的なアセスメントと直接的な看護ケアの能力をスーパービジョンを受けることによって開発する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実習時期：1年次前期（冬休み期間の2週間）</li> <li>・実習場所：グループホーム、特養</li> </ul> <p>III. 認知症をもつ高齢者の看護ケアをとおして、在宅療養高齢者の健康問題と家族への介入の課題を検討する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実習時期：1年後期（週1回×2ヶ月）</li> <li>・実習場所：訪問看護ステーション</li> </ul> <p>IV. 事例を受け持ち、スーパービジョンを受けることをとおして、病院や施設における老人専門看護師として必要な倫理的実践の判断や、看護職員や関係職員に対する教育・相談・調整の能力を開発する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実習時期：2年次前期（夏休み期間の2週間）</li> <li>・実習場所：病院</li> </ul> <p>V. 受け持った事例や看護実践の体験をもとに、高齢者看護の場で生起している現象について自己の研究関心テーマと関連させ、文献的検討をおこなう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・演習時期：1年次後期から2年次前期・後期</li> </ul>							
テキスト								
参考文献	講義中に提示							
成績評価の方法	実習の計画と成果およびレポート(50%)、文献検討の準備とプレゼンテーション内容(50%)							
教員から学生へのメッセージ	<p>実習は専門看護師としての能力開発をしていく上で重要な学習になります。これまでの経験を生かしながら、専門看護師の役割・機能がどのような位置を占めるのかについて十分に学びましょう。また、実習をもとにした事例の検討をとおして、研究関心を深め、計画書作成に向けての準備も重要になります。</p>							